

吉田公一閣下

千八百七十二年五月中華威頓府ニ
於テ合衆國大統領ト面悟ニ帝左
ニ通函下、此通達可致旨曰人々
申聞候

ドオン 當時素港ニ日本領事ノ 義並テ大

統領、相勤メ爾後人物 大言申立候ニ付

一時日本相館詰メ合衆國領事

此中付候爰ニ後大統領ヲ全クド

オニ之為メ此欺候所致承知候子付

大藏省



右ドオン並チニ免職申付ル後自分並
合衆國大統領并合衆國陸軍大將
レヨロモンニ為シ深ク吹奏セラレシ杯中
立日本政府ノ下ニ存職可致連頻ニ
国旗被セシ越大統領ノ陸軍ニ解レ
就テハ曰人シオテハ決シテ信用可致人
物ニテハ無ク其閣下ニ申上旨申付被
如シ又ドオン並チ自分ノ採用ヲ固クセシ
大統領或ハ大將シヨロモンニ名寄ル
用被其右杯ニ被決シテ大統領トシ

亦得免職ニ無ク又ハ大統領或ハ大將
レヨロモンニ被任ナセシ連吹奏ニ
紹介状並出被其右等ニ出状申付ク
由造ニモノニテ被シテ真物ニ無ク被
右ニ通閣下ニ申上旨被給大統領
者ニ下旨ニ被任被取ル
千九百零三年十月二十日

レヨロモンニ被任ニ付ルリヤム

大飛々捕閣下

大義首

